

アクティブステューデント応援奨学金活動報告書

国際経営学部 国際経営学科 3年

岩崎海都

はじめに

私は元々、「ビジネス英語習得のための語学研修及びボランティア活動を通じての異文化理解」を活動テーマとし、アクティブステューデント応援奨学金に出願しました。活動場所にはフィリピンを選択しており新型コロナウイルス感染症の脅威が終息し次第、留学を開始する予定でした。しかしながら、度重なる感染拡大とフィリピンのロックダウンや入国厳格化により、関係団体と調整を重ねてきましたが今回の留学は不可能という決断に至りました。そのため当初の計画を変更し、資格取得によるスキルアップと国内ボランティアによる人間性の成長を目指すことにしました。

当初の留学には大きく分けて二つの目標がありました。一つ目は英語力を上げて他者との差別化を図ること、もう一つは自分の知らない世界を実際にこの目で見て、体験し、多様性を学ぶことです。けれども計画変更に伴いこれらの目標を再設定することにしました。そこで私は新たに三つの目標を掲げました。一つ目が資格取得により私の興味関心がある金融分野への理解を深めること、次に日本にいながらでも外国人と話すことができるオンライン英会話で自分の英語力を底上げし世界で通用する語学力を身に着けること、最後にボランティア活動に参加し人々と交流することで自分を見つめなおすことです。コロナ禍でも安全に実施することができ、かつ当初の目的との関連性がある内容にしました。

資格取得について

私はこの奨学金の多くを教材費と試験の受験料に使わせていただきました。私がスキルアップのために最初に学習を始めた資格はファイナンシャル・プランニング（FP）技能検定です。私は金融業界のとりわけ証券、銀行に就職したいと考えています。そのため、これらの業界で必要とされている知識を網羅的に学ぶことができるFP技能検定を受験することにしました。FP技能検定は学科試験と実技試験に別けて実施されます。また科目はライフプランニングと資産計画、リスク管理、金融資産運用、タックスプランニング、不動産、相続・事業継承と多岐にわたります。同じ金融分野の試験として比較される簿記検定は企業の会計に焦点を当てているのに対し、FP技能検定は家計（個人）のすべてのお金のやり取りに焦点を当てています。

私は2020年10月に3級FP技能試験、2021年10月に2級FP技能試験に合格しました。FP技能試験の合格は私に自信を与えました。またそこで学んだ内容は就職活動のみならず、日常生活においても大いに役立っています。例えば、自動車保険の更新の際に重複していたり無駄になっている契約を見直したり、友人やゼミ内でNISA（少額投資非課

税制度)の概要や特徴を説明したりするなど、生活と密接にかかわる多くの部分でFPの知識は利用できることがわかりました。またFPで学習した知識はアウトプットしやすく、自身のライフプランニングを考えるきっかけにもなりました。

現在はFPとの関連性が高く、より証券や銀行分野に特化した証券アナリスト第1次試験に向けて学習を進めています。私が所属しているゼミの教授である国松麻季教授の紹介によって知り合うことができた、長期インターンシップ先の金融コンサルティング会社のマネージャーなど様々な方に進路について相談しました。そこで「会計の数字の裏側には企業の経営戦略や意思決定が隠れており、それらを分析することに適性があるのではないか」と有難い助言をいただきました。その助言を通じて、私はデータを扱うことが得意であり、自分が志望する金融業界で就職活動時でも入社後でも役に立ち、専門的な知識が身につく証券アナリストを目指すことに決めました。



FP2級の合格証

証券アナリストは投資・企業評価のプロフェッショナルです。試験には第1次レベルと第2次レベルがあり、証券分析とポートフォリオマネジメント、財務分析、数量分析と確率・統計など6分野について出題されます。そしてこの証券アナリスト第1次試験の受験資格として、日本証券アナリスト協会が実施する証券アナリスト第1次レベル講座を受講することが求められています。これまで証券アナリストの存在は知っていましたが、高額な費用が支障となっており受講を躊躇っていました。しかしこのアクティビステューデント応援奨学金のおかげで受講することができました。

私が証券アナリストの学習を始めて感じたことは、国際経営学部での学びとの共通点が多いということでした。例えば学部のミクロ経済学で教わった知識や概念が証券アナリストの勉強にそのまま出てくるのが多数ありました。また経営統計入門で扱ったいくつかの数式を応用することで証券分析の複雑な計算式やデータを容易に理解できました。この資格の勉強を開始するまでは、学部での講義が一見すると関連性のない分野で繋がっているとは思いませんでした。つまり学部の講義と資格に向けての学習には相乗効果があることがわかりました。これからも来年の春に実施される証券アナリスト第1次試験にむけて、資格の勉強のみならず学部の講義にも励んでまいります。

英語でのコミュニケーションの重要性

英語を話せるようになることはグローバル社会で生きていくうえで必要不可欠です。今

果、物事に対し今まで以上に注視するようになり、以前よりも集中力が上がりました。そしてオンライン英会話と並行して TOEIC の学習を進めていったところ、半年でスコアが 100 点上がりました。私はこのオンライン英会話を通じてリスニングやリーディングのような知識面だけでなく、思考することの重要性を学びました。

交流による成長

ボランティアは地域と社会をより良いものにするとともに、自分自身を成長させる力を持っています。そしてボランティアには自分の意志で行う自主性、見返りを求めない無償性、人とのつながりを広げる社会性、より良い社会を創る創造性の四原則があります。私はこの四原則を一昨年の秋に参加したラグビーワールドカップ 2019 日本大会の大会組織ボランティアで教わりました。ボランティアを行う際はこれらを肝に銘じ、他者のため、社会のために活動しています。その一環として、私は今年小学校の補助指導員ボランティアに挑戦しました。

まず補助指導員とは、アシスタントティーチャーとして学校行事の支援や生徒の見守りなどをする人々のことです。私は友人に紹介してもらった地元の小学校の一泊の宿泊体験学習に補助指導員ボランティアとして参加しました。これまで私は教育関連のボランティアをしたことがなく、自分に務まるのか不安であると同時に、普段は知ることができない学校の裏側を先生側から見られるということで胸が高鳴りました。道中、生徒全員から「岩崎先生」と呼ばれましたが、その呼び名に慣れていないため大変恥ずかしかったです。このボランティアの中で、特に印象深く記憶に残っていることが二つあります。

一つ目は防災センターで地震体験や消火器訓練、新聞スリッパ製作など様々なプログラムを通じて、わかりやすく防災・減災について学んだことです。新聞紙を用いてのスリッパ製作ではインストラクターが災害時に裸足で出歩くことの危険性や新聞の保温性の高さなどを小学生でも理解できるようにかみ砕いて説明していただき、実際に新聞スリッパを生徒と一緒に作りました。そこでの私の仕事は作り方がわからない生徒をサポートすることでした。その際私が学んだことはひとりひとりの理解力が異なり、それぞれに合わせたアプローチが求められるということです。例えば口頭での説明が適している生徒もいれば、横に付き添って新聞紙を折ってあげた方がいい生徒もおり、相手の様子を窺いながら対応を変えていきました。したがって生徒に対する接し方は一つではなく、相手の性格や様子を見ながら臨機応変に対応していくことが大切であると学びました。

そして夜間には、小学校の先生の真の忙しさを体験しました。生徒を就寝させただけでは先生方の仕事は終わりません。その後は30分ほど巡回を行い、職員ミーティングがありました。そこでは初日のけが人の有無、予定通りに行動できていたのか、よかった点、明日にむけての改善点など多くの議題について話し合いました。私が驚いたことは、ほとんどの先生方が多忙な中でも生徒ひとりひとりの行動を把握していた点です。他の先生方は生徒との会話や様子を見ながら、彼らを観察していたのです。そして必要があれば適切なフォローを入れて全員が楽しめるように最善を尽くしていました。私は一度に複数の物事に対して気を配ることができなかつたので、先生方の器用さにただただ驚かされました。宿泊体験学習が滞りなく終わられたのは、紛れもなく先生方のおかげでした。私が小学生の時、深く考えず純粋に行事を楽しんでいたのは、裏側で先生方が常に試行錯誤を繰り返しながら調整してくださっていたからであると今になって理解しました。

この小学校ボランティアを通じて、私は社会性と創造性を高め成長することができました。中でも先生と子どもが信頼関係を築いていく中で社会性が育まれることに気づけたのは、大きな収穫でした。加えて自分で考え行動するという自主性や柔軟性が身につき、これらがボランティア精神の創造性に繋がったと思います。

おわりに

当初とは計画が大きく変わりましたが、私はアクティブスチューデント応援奨学金によって様々なことに挑戦でき、多くの経験を得ました。また最初に掲げた三つの目標も無事に達成することができました。これからも努力を惜しまず、来年に控えている証券アナリスト第1次試験に向けた準備や学部での学び、社会貢献を続けていこうと思います。最後になりましたが、このような貴重な機会を提供してくださった国際経営学部の教授方や職員の方々をはじめ、保護者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



ボランティアの宿泊先にて